

2015年9月期 決算概要 (2014年10月1日～2015年9月30日)

シミックホールディングス株式会社

2015年11月5日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2015年9月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援および分析サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックバイオリサーチセンター (株)応用医学研究所 (株)JCLバイオアッセイ CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC(Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC(Beijing) Co., Ltd. CMIC, Inc.
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品および一般用医薬品などの製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO足利(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオリジクス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援および医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	シミックホールディングス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発および販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

- (株)シミックエムピーエスエスは、2014年10月1日付で商号をシミック・アッシュフィールド(株)に変更しております。
- (株)応用医学研究所は、2014年10月1日付で報告セグメントをCMO事業からCRO事業に変更しております。セグメント別の業績の前期比増減額および率につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しております。
- 2015年3月1日付で(株)JCLバイオアッセイおよびCMIC, Inc. (旧JCL BIOASSAY USA, Inc.) を完全子会社化しております。
- 2015年10月1日付で(株)応用医学研究所は、(株)JCLバイオアッセイを吸収合併し、商号をシミックファーマサイエンス(株)に変更しております。

2015年9月期 総括

◎ 業績	売上高	55,904百万円	前期比	5.8%増加
	営業利益	1,411百万円	前期比	49.0%減少
	当期純損失	542百万円	前期 当期純利益	1,174百万円

Project Phoenix ~業績V字回復と持続的成長を目指して~

- ・ **CRO事業** **日本市場参入の支援強化と非臨床業務の改善**
2014年12月 CDISC(Clinical Data Interchange Standards Consortium)推進室新設
2015年3月 JCLバイオアッセイを完全子会社化（分析化学サービス業務等の非臨床分野の強化）
2015年5月 再生医療分野のコンサルティング事業促進のため専任チームを設置
- ・ **CMO事業** **構造改革の推進と新規受注の獲得**
2014年10月 UDG Healthcare plc とLOIを締結（パッケージングアウトソーシングの戦略的事業提携）
2015年3月 KBI Biopharma Inc.をJSR(株)・(株)産業革新機構と共同で買収（バイオ医薬品の技術導入）
- ・ **CSO事業** **MR派遣業務の受注力強化とサービスモデル拡充**
2014年10月 シミック・アッシュフィールドが営業開始（UDG Healthcare plcとのJV）
- ・ **ヘルスケア事業** **新規受注の獲得とコスト削減**
2014年12月 報道の影響による取引停止に対し、全ての新規発注が解禁
- ・ **IPD事業** **黒字化に向けた売上拡大**
2014年11月 東レ・メディカル製品のCo・プロモーションおよび安全管理業務の実施
2015年1月 アステラス製薬とオーファンドラッグ等3製品の製造販売承認の承継契約を締結
（4月1日付「ソマゾンR注射用10mg」販売開始）
- ・ **その他**
2014年10月 FY2015 連結納税制度の導入
2014年11月 自己株式の取得（取得株数25.69万株、1.41%、取得価額449百万円）
2014-2015年 シミックエムピーエスエス等株式売却等
2015年 平成27年度税制改正及び一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、繰延税金資産のうち829百万円を取り崩し、法人税等調整額を計上した影響を受ける。

連結損益計算書（要約）

	2014/9		2015/9		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	52,836	100.0	55,904	100.0	+3,068
営業利益	2,766	5.2	1,411	2.5	△1,354
経常利益	2,645	5.0	970	1.7	△1,674
当期純利益	1,174	2.2	△542	—	△1,716
1株当たり 当期純利益	65円26銭		△29円57銭		

※平成27年度税制改正及び一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、繰延税金資産のうち829百万円を取り崩し、法人税等調整額を計上した影響を受けております。

セグメント別売上高及び営業利益

		2014/9	2015/9	増減額	増減率
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	(百万円)	(%)
C R O 事業	売上高	25,043	27,471	2,428	+9.7
	営業利益	4,830	5,092	261	+5.4
C M O 事業	売上高	13,613	13,810	197	+1.4
	営業利益	379	△325	△704	-
C S O 事業	売上高	7,162	8,875	1,712	+23.9
	営業利益	645	716	71	+11.0
ヘルスケア事業	売上高	7,433	5,640	△1,792	△24.1
	営業利益	△521	△1,188	△667	-
I P D 事業	売上高	498	762	263	+52.9
	営業利益	△546	△356	190	-
調 整 額	売上高	△915	△656	259	-
	営業利益	△2,020	△2,526	△506	-
合 計	売上高	52,836	55,904	3,068	+5.8
	営業利益	2,766	1,411	△1,354	△49.0

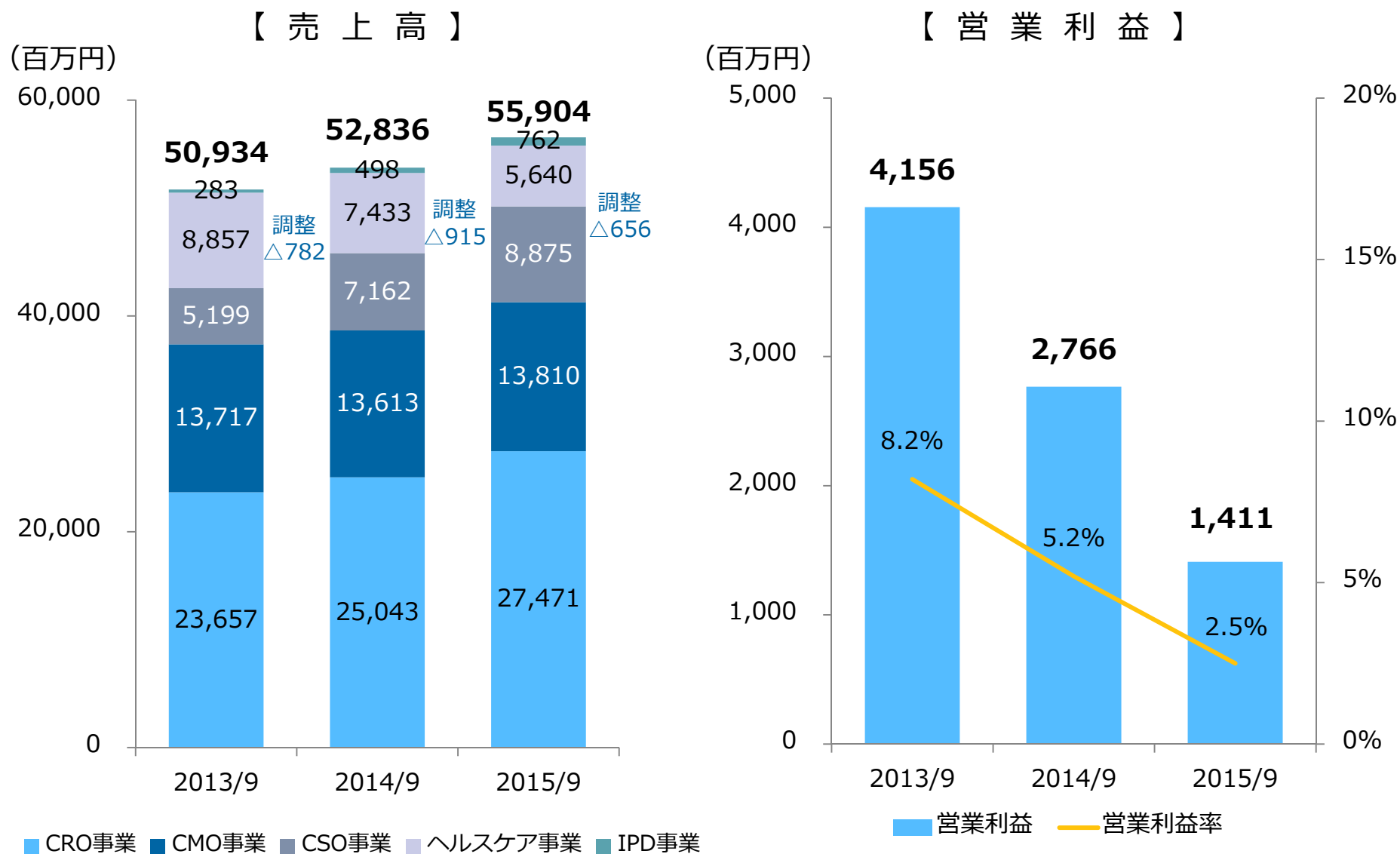


受注高・受注残高

	2014/9		2015/9			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	27,429	38,221	31,587	+15.2	42,430	+11.0
C M O 事業	15,940	3,662	13,350	△16.3	3,240	△11.5
C S O 事業	8,725	5,498	10,174	+16.6	7,247	+31.8
ヘルスケア事業	3,360	8,284	6,229	+85.4	8,908	+7.5
I P D 事業	618	144	905	+46.5	327	+126.0
合 計	56,074	55,810	62,247	+11.0	62,153	+11.4

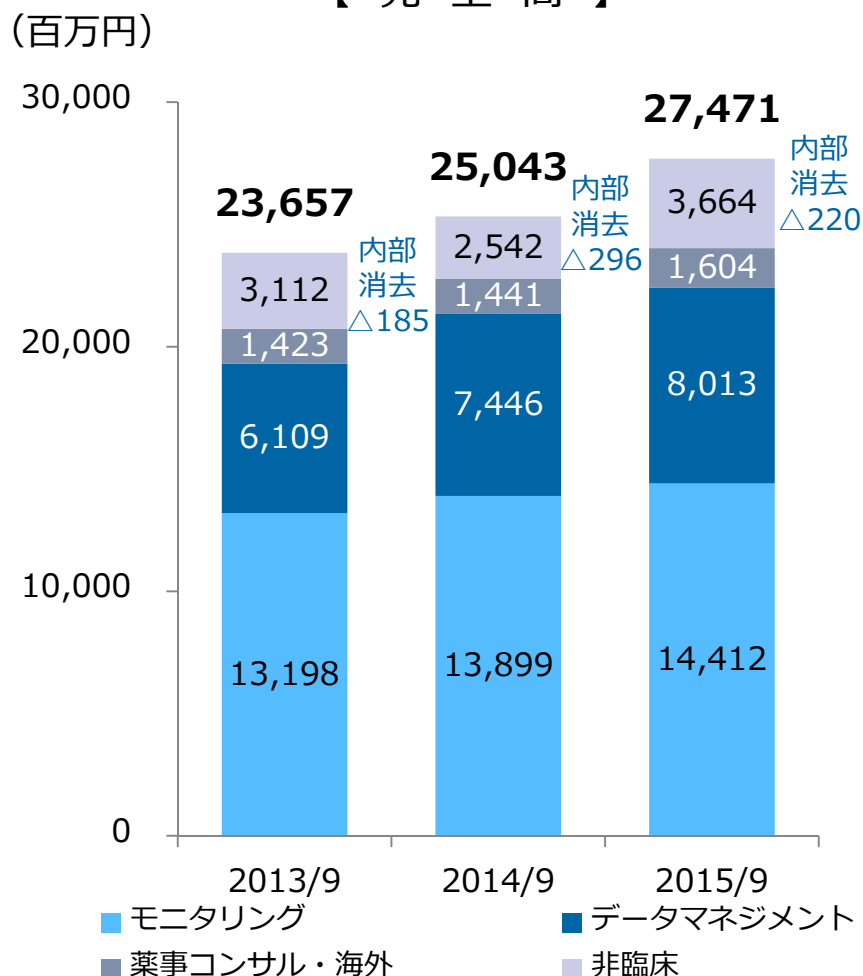
- CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。
- (株)応用医学研究所のセグメント変更は、反映済み。
- CRO事業の受注高には、第2四半期に連結子会社となった(株)JCLバイオアッセイ及びCMIC, Inc.の第2四半期末の受注残高1,959百万円を含む。

連結売上高および営業利益の推移

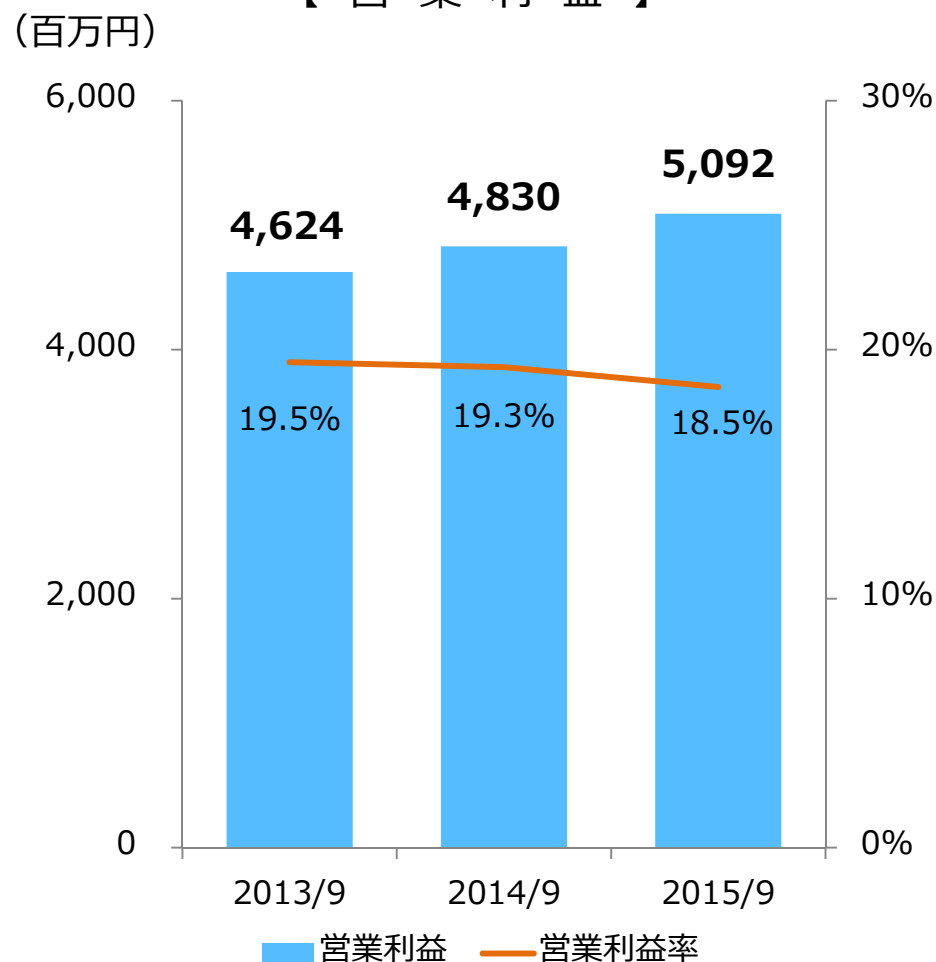


医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高】

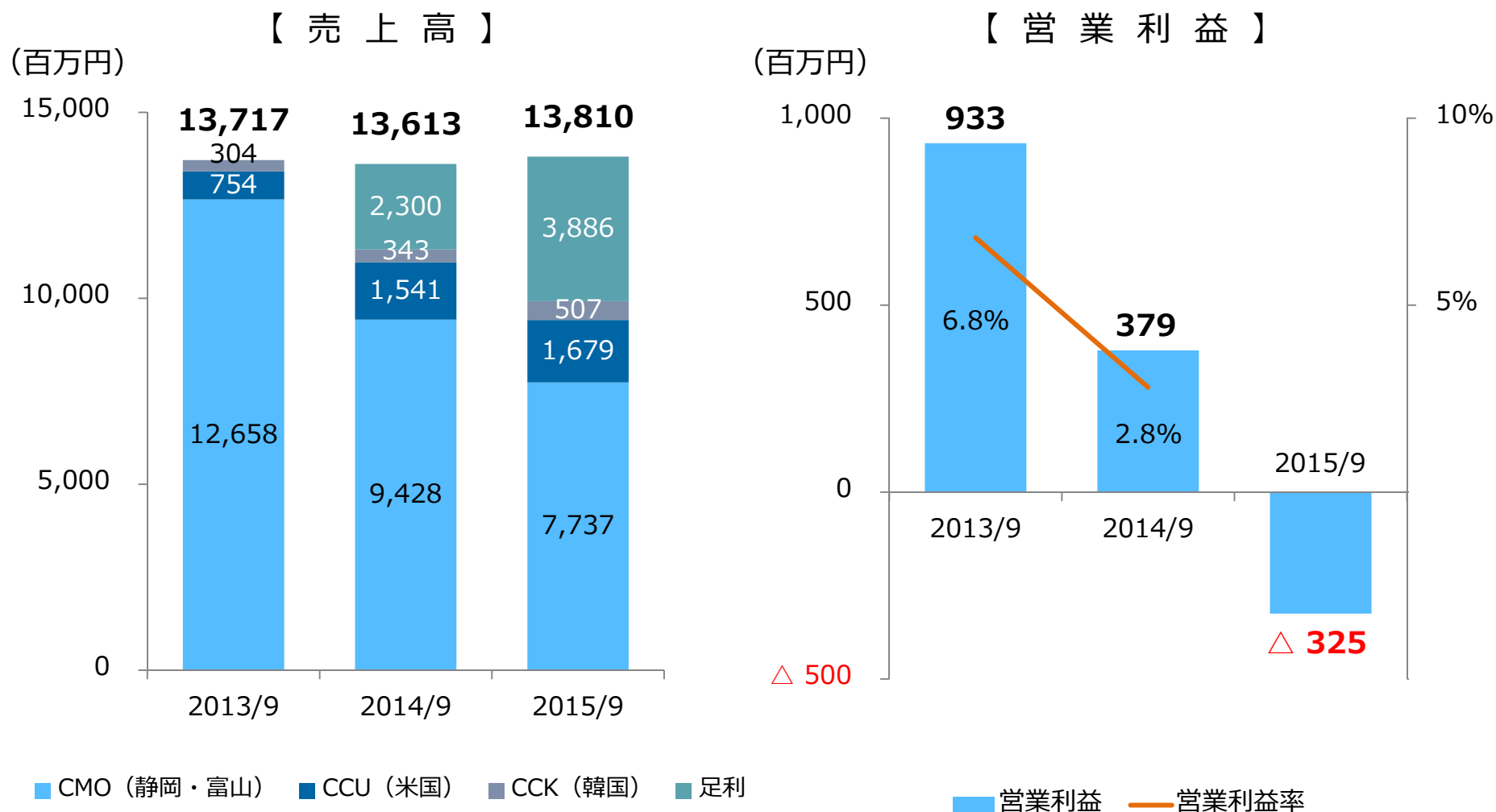


【営業利益】



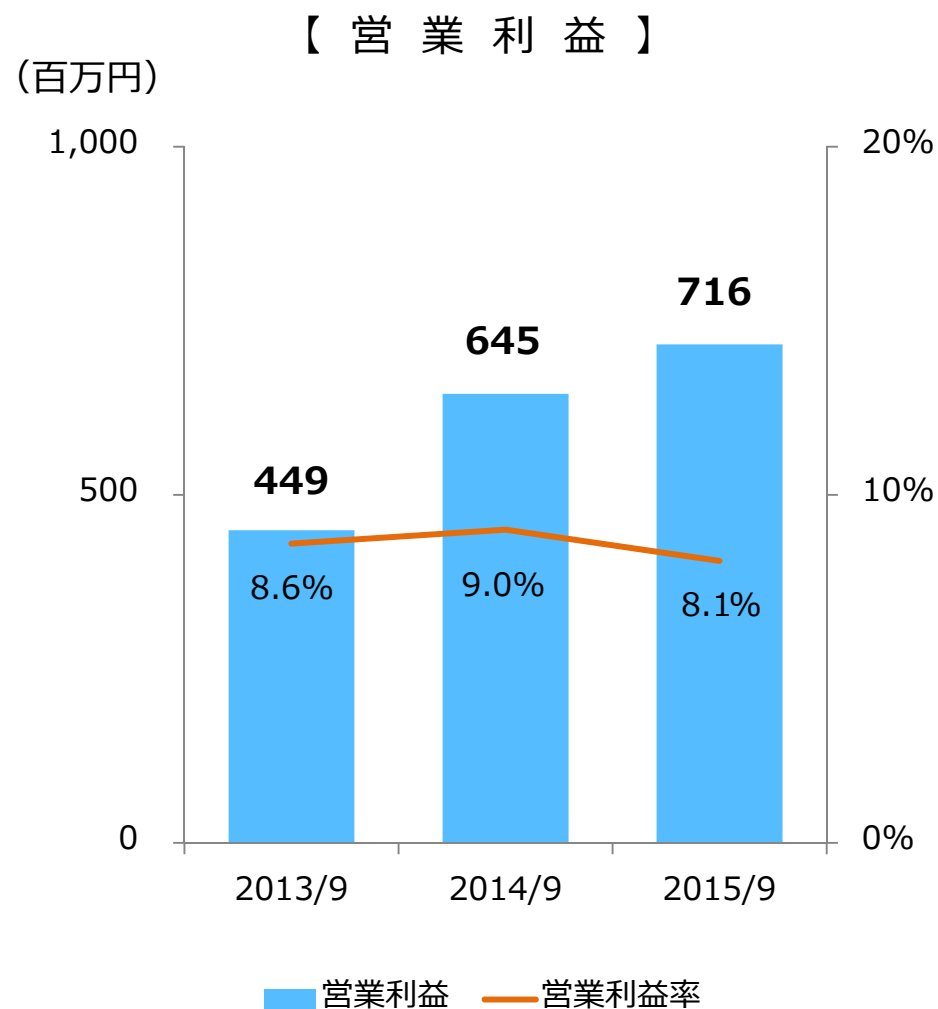
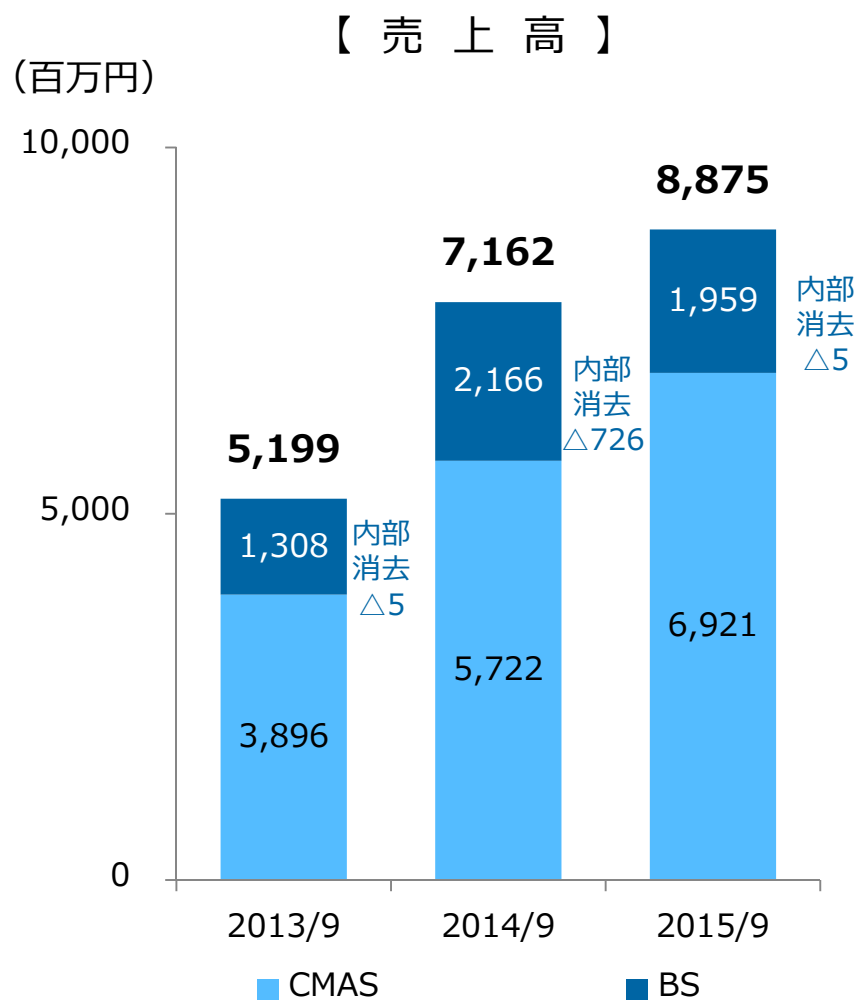
グローバル開発案件や治験国内管理人業務等を拡大。分析化学サービス等の非臨床業務を強化中。モニタリング業務及びファーマコヴィジランス業務等における新規受注及び既存案件が堅調に進捗し、JCLバイオアッセイが加わったことにより売上高が前期を上回る。ファーマコヴィジランスの順調な進捗により営業利益も上回る

医薬品製造支援（CMO）事業



構造改革に取り組み、コスト構造の転換・新規受託獲得のための営業強化を推進、案件の引き合いが増加傾向。シミックCMO足利が加わったこと等により、売上高は前年同期を上回るが、静岡の一部受託製品の生産終了に伴う生産量の減少等により営業損失を計上

医薬品営業支援（CSO）事業

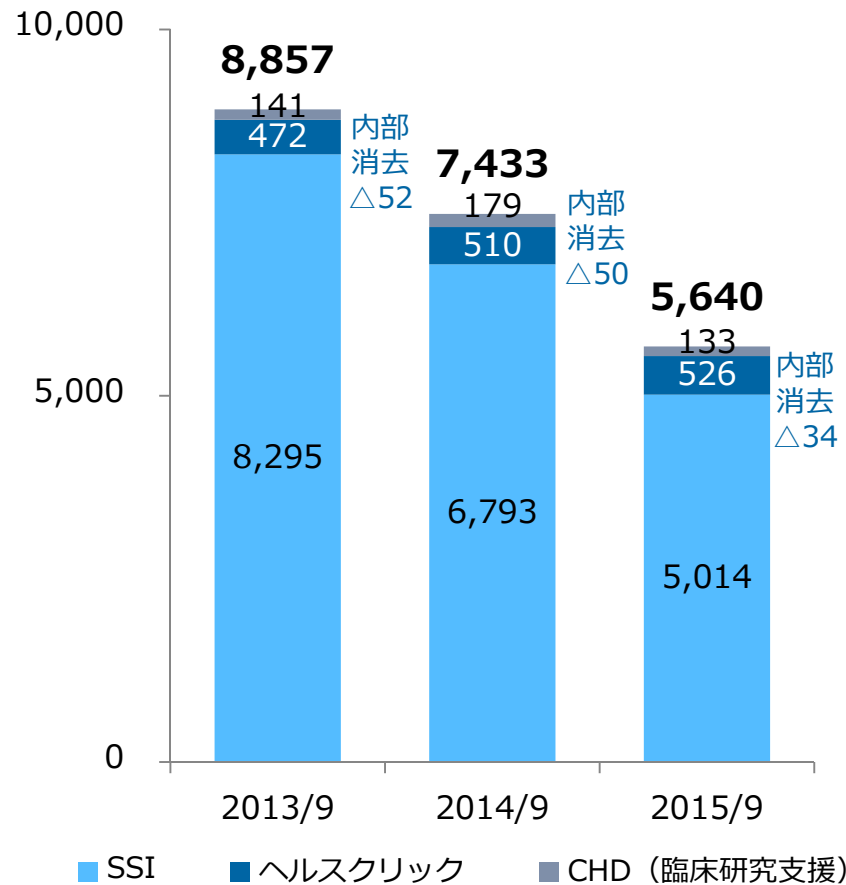


合併会社シミック・アッシュフィールドとして、受注力強化およびサービスモデル拡充に取り組む。MR派遣業務及びBPOサービスの既存案件が好調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年同期を上回る

ヘルスケア事業

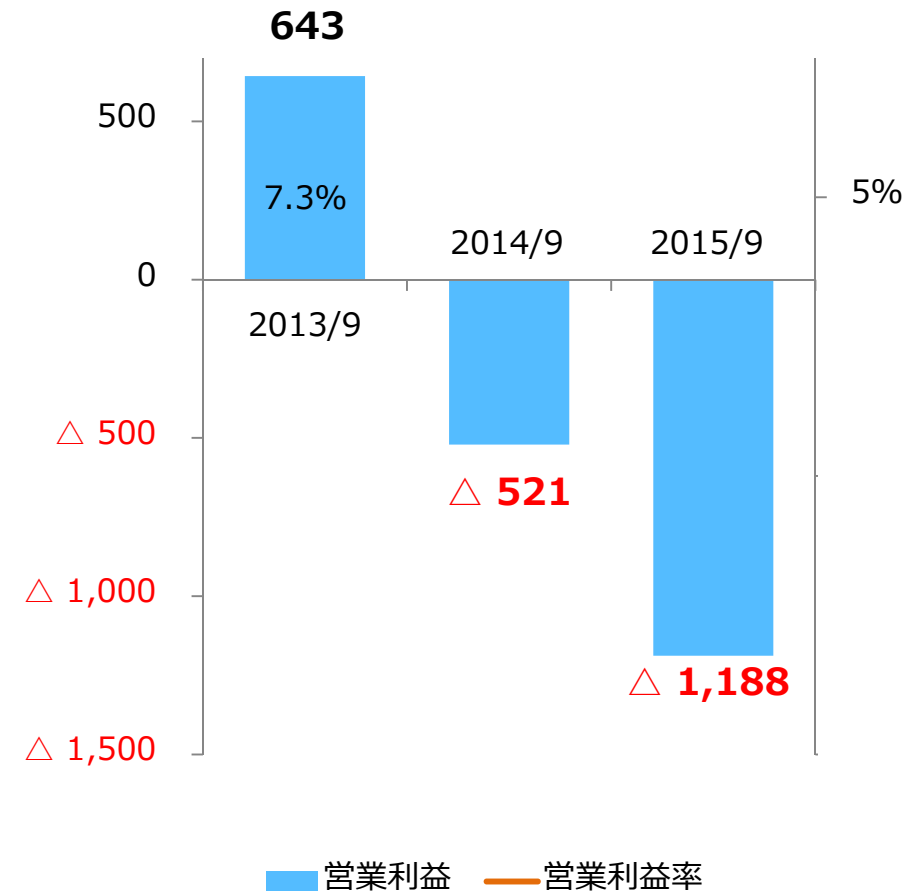
【売上高】

(百万円)



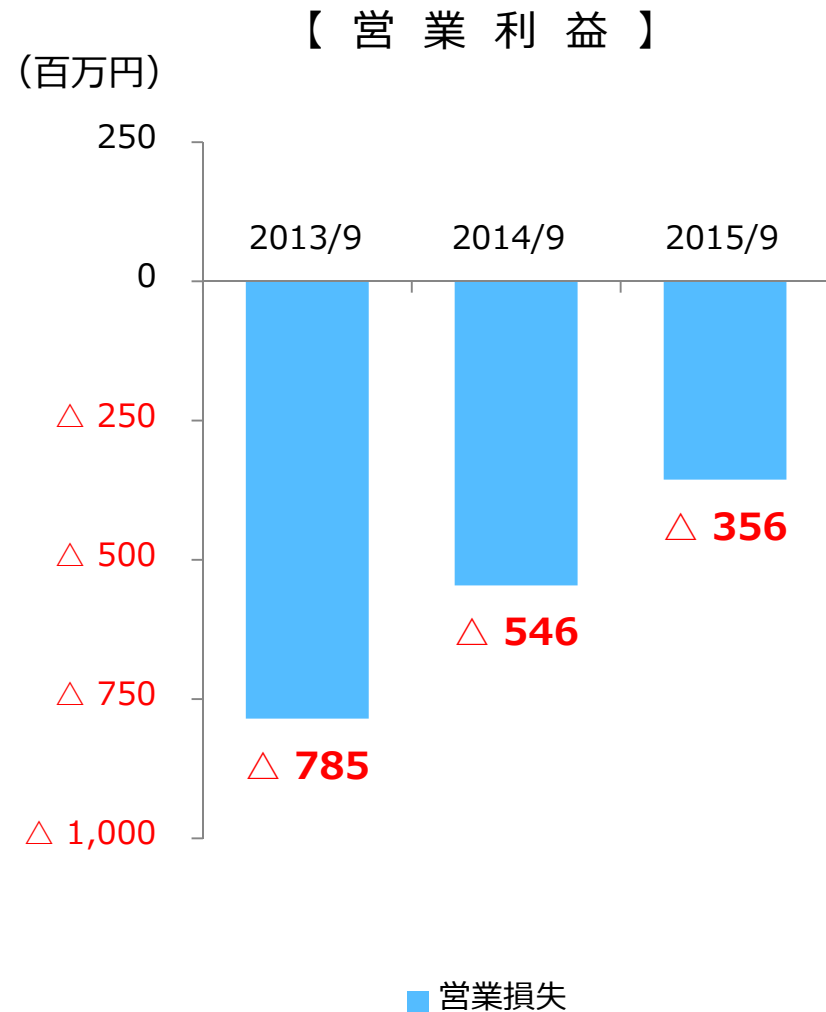
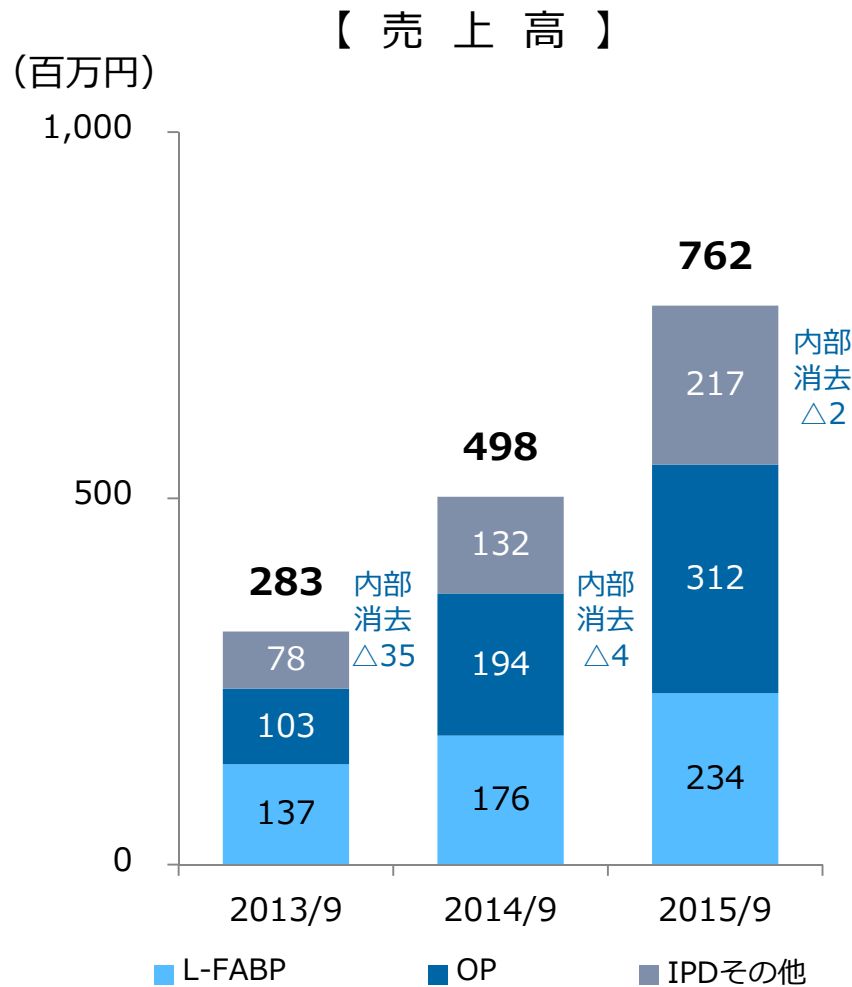
【営業利益】

(百万円)



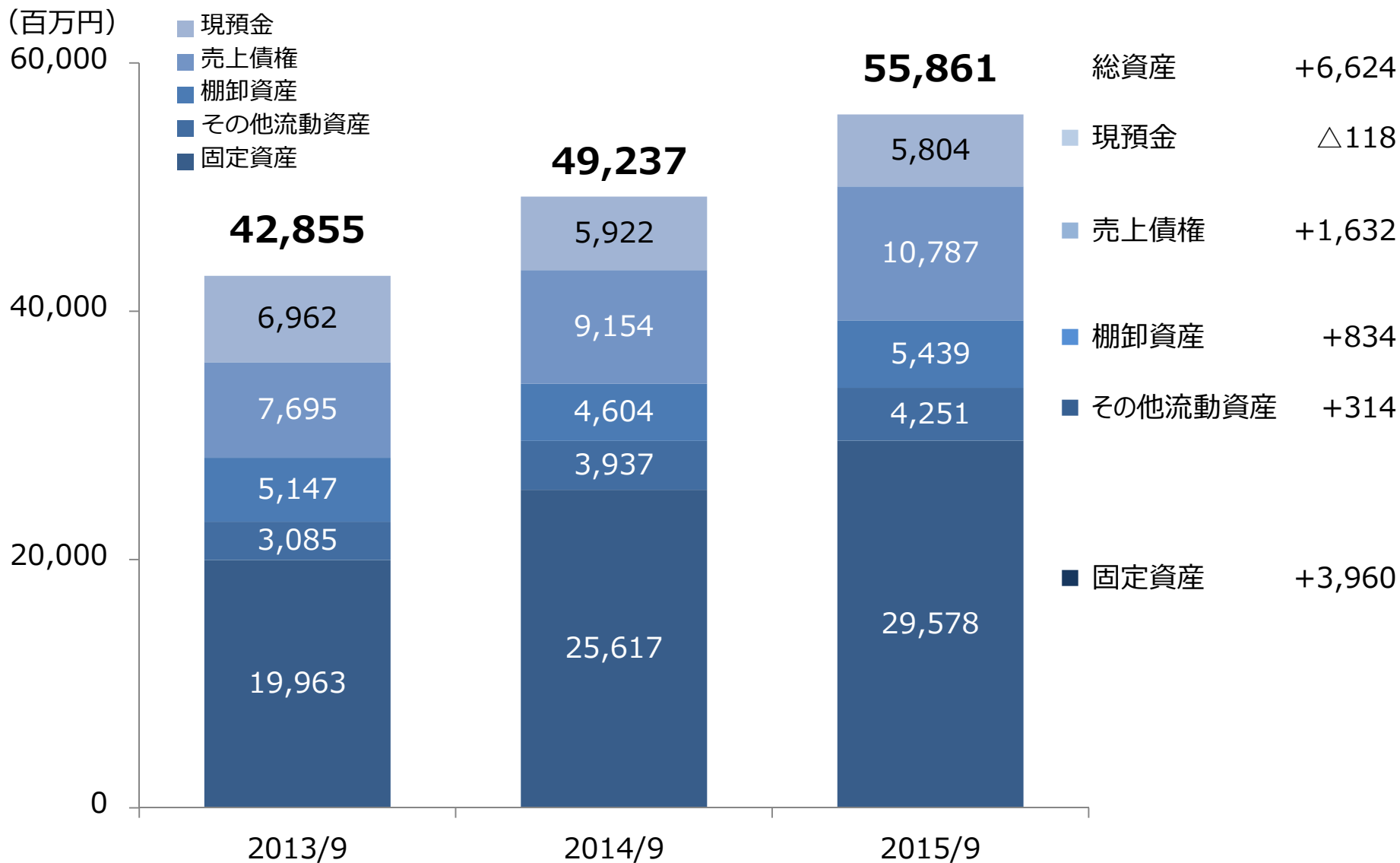
営業活動の強化、医療機関ネットワーク拡大の推進など新規受注獲得に邁進、受注は回復傾向。プロジェクト管理の徹底、コスト削減策の実施を図るなど、経営効率化のための施策を推進。前期の受注進捗の遅れに伴い、売上高は前年同期を下回り、稼働率低下で営業損失を計上

知的財産開発（IPD）事業

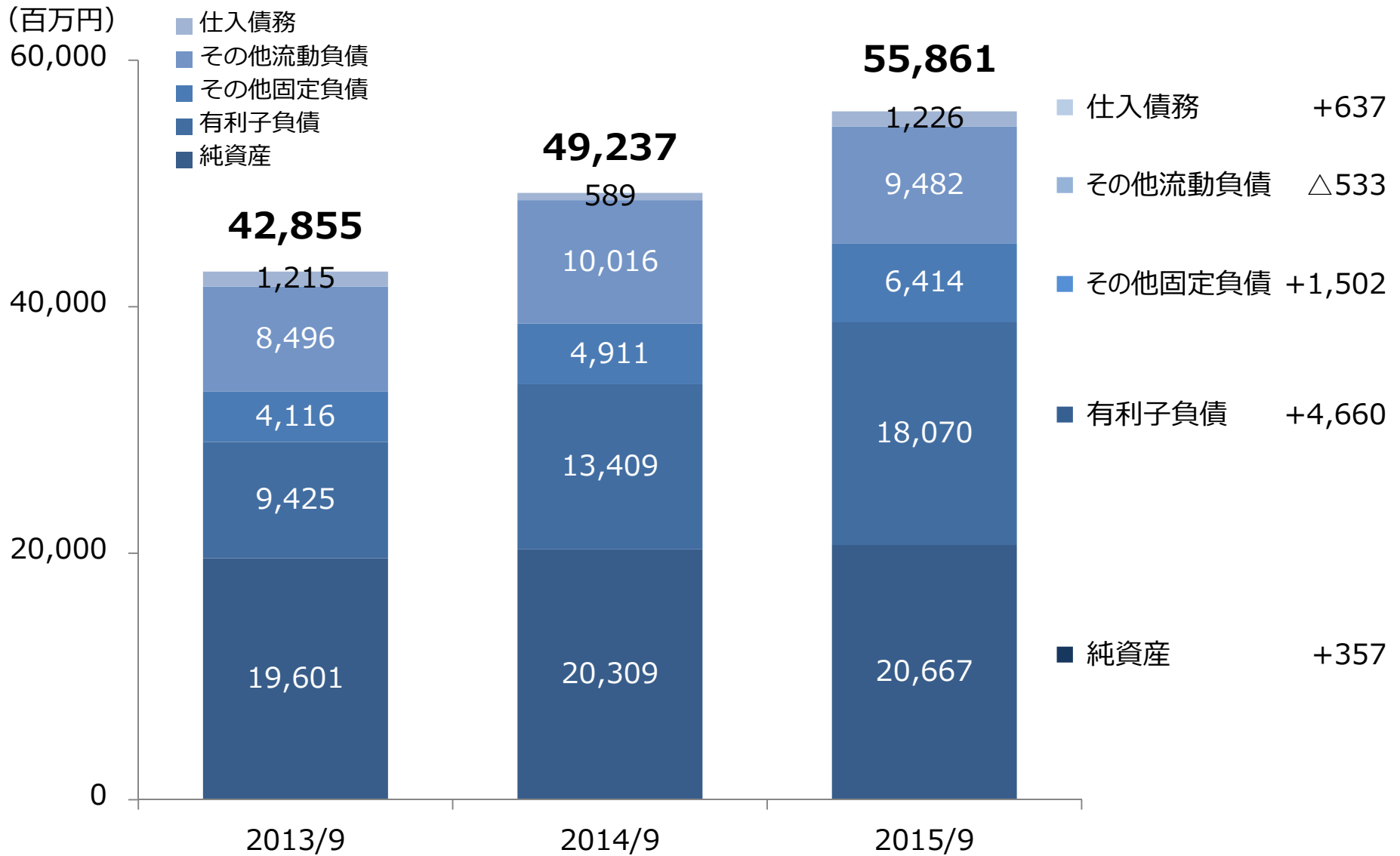


診断薬は簡易検査（Dip-test）キットの開発に取り組む
 製薬企業とオーファンドラッグ等 3 製品の製造販売承認の承継契約を締結し、1 製品の販売を開始。
 また製薬企業の共同販促型業務提携を実施するなど、売上高の拡大に取り組む
 研究開発費の減少および希少疾病用医薬品の販売コスト削減に取り組む

貸借対照表（資産の部）



貸借対照表（負債の部・純資産の部）



キャッシュ・フロー

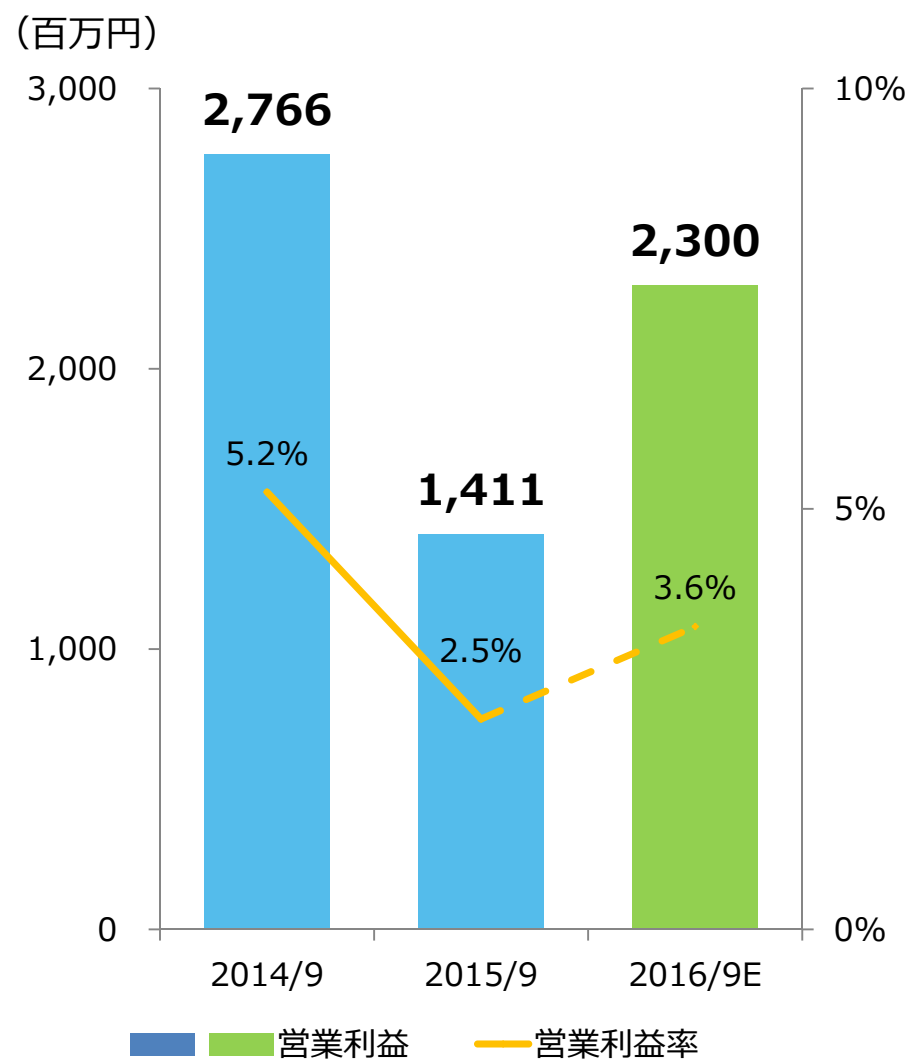
(百万円)

	2014/9	2015/9	増 減	
営業活動によるCF	2,677	889	△1,787	【主な内訳】 (営業活動によるCF)
投資活動によるCF	△6,910	△3,461	3,449	・税金等調整前純利益および減価償却による収入 ・売上債権の増加および法人税等の支払による支出
財務活動によるCF	3,111	1,904	△1,206	(投資活動によるCF)
現金及び現金同等物の 換算差額	64	21	△43	・有形固定資産及び無形固定資産の 取得による支出 ・関係会社株式の売却による収入
現金及び現金同等物の 増減額	△1,058	△646	411	(財務活動によるCF)
現金及び現金同等物の 期首残高	6,810	5,751	△1,058	・金融機関からの長期借入およびコマー シャルペーパーの発行による収入 ・長期借入金の返済及び配当金の支払いによる支出
株式交換による現金及び 現金同等物の増加額	—	533	533	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,751	5,638	△113	

2016年9月期 業績見通し

2016年9月期 通期見通し

	2015/9 実績	2016/9 計画	増減率
	(百万円)	(百万円)	(%)
売上高	55,904	63,200	+13.0
営業利益	1,411	2,300	+62.9
経常利益	970	1,960	+101.9
当期純利益	△542	400	—



2016年9月期通期見通し (セグメント別)

		2015/9 実績	2016/9 見通し	増減額 (百万円)	増減率 (%)
		金額 (百万円)	金額 (百万円)		
C R O 事業	売上高	27,471	30,000	2,528	+9.2
	営業利益	5,092	4,900	△192	△3.8
C M O 事業	売上高	13,810	14,900	1,089	+7.9
	営業利益	△325	350	675	—
C S O 事業	売上高	8,875	10,300	1,424	+16.1
	営業利益	716	750	33	+4.6
ヘルスケア事業	売上高	5,640	6,300	659	+11.7
	営業利益	△1,188	△200	988	—
I P D 事業	売上高	762	2,500	1,737	+228.0
	営業利益	△356	△400	△43	—
調 整 額	売上高	△656	△800	△143	—
	営業利益	△2,526	△3,100	△573	—
合 計	売上高	55,904	63,200	7,295	+13.0
	営業利益	1,411	2,300	888	+62.9



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。